

## 第70号

青森地区保護司会

## 保護司会だより

発行：青森地区保護司会広報部  
 青森市長島1丁目3-28  
 更生保護施設プラザあすなる  
 青森地区更生保護サポートセンター内  
 TEL017-763-0763



## 青森市長へ再犯防止推進計画に係る要望書の手交式

令和3年10月19日(火) 青森市役所にて (写真左より) 青森保護観察所木村所長, 青森県更生保護女性連盟塩原会長, 小野寺青森市長, 青森県保護司会連合会天内会長, 青森県更生保護協会川嶋理事長 (詳細は8面に掲載)

## ある保護司の独り言



青森地区保護司会  
 副会長 鎌田 喜代志  
 青森県更生保護協会評議員  
 NPO法人青森県就労支援事業者機構  
 常務理事

鎌田 喜代志

冒頭に9月16日「中村勝弘様のお別れの会」が  
 挙行され、出席させて頂きました。

青森県更生保護協会 前理事長 中村勝弘先生  
 の御遺徳・御功績に対し、衷心より感謝申し上げ、  
 ご冥福をお祈り申し上げます。

保護司の独り言「僕の前に道はない 僕の後ろ  
 に道は出来る ああ 自然よ 父よ 僕を一人  
 立ちにさせた広大な父よ」

保護司を決意した時分の先輩の方々は「広大な  
 父」的存在でした。

「僕から目を離さないで 守る事をせよ 常に  
 父の気魄を僕に充たせよ この遠い道程のため  
 この遠い道程のため」

馴染んでいた高村光太郎の詩「道程」です。

感慨深いのは「常に父の気魄を僕に充たせよ」

で、父の気魄が大きなベクトルです。

独り言 「衣食足りて」も礼節を軽んじられるニ  
 ュースが続くと、京都の竜安寺の手水鉢に刻まれ  
 る「吾 唯 足るを 知る」を、「知足」の戒めを想  
 起されます。

独り言 「年老いて繊細な感覚が鈍ってはなる  
 まい。知性が衰えてはなるまい。燃えるのはいい、  
 心を熱くして生きなくて何の老いがある。 染  
 織作家 志村ふくみ」私を叱咤激励していると思  
 考されます。

独り言 「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生  
 きるかのように学べ マハトマ・ガンジー」 「人  
 生から何を期待されているかを考える フランク  
 ル」、人生100年のテーマに聞こえます。

独り言 「保護司に小中高の教師の登用も必要」  
 教育界にも保護司界にも、多面的な効果が重層的  
 に潜在していると思われま。

独り言 「老年よ 大志を抱け」札幌農学校のク  
 ラーク博士の「ボーイズ ビー アンビシャス」の  
 名文句で、明治の近代化、北海道開拓が劇的に展開  
 され、人はイメージした様に行動すると言われま  
 す。大志と和訳したアンビシャスは野心的の意味  
 も含有され、取扱い注意して保護司を続けたいと  
 思います。



# 佃中学校での社明運動

～ 第71回 社会を明るくする運動・中学校連携事業 ～



開催日/令和3年7月21日(水) 会場/佃中学校【来年度 南中学校】



挨拶する小野寺市長（社会を明るくする運動青森地区推進委員会委員長）



内閣総理大臣メッセージ伝達  
青森保護観察所木村所長より  
齋藤校長へ



挨拶する齋藤裕行校長



講演 法務少年支援センターあおもり  
（青森少年鑑別所） 竹之下仁宏氏



Zoom のオペレーション



生徒代表からお礼の言葉



教室でTV放送で参加する1、2年生



リモート会場アウガでの参加

## コロナ禍で工夫された学校の対応 保護司はアウガにてリモート参加

昨年度は佃中学校だったが、コロナ禍のため今年にそのまま延期となり7月21日開催された。（齋藤裕行校長，全校生徒数447名，教職員33名，5月1日現在）体育館には3年生が集まり1，2年生は教室でTV放送での視聴となった。小野寺市長（社会を明るくする運動青森地区推進委員会委員長）の挨拶，青森保護観察所木村所長から内閣総理大臣メッセージを齋藤校長へ伝達，齋藤校長挨拶後の講演では「思いの伝え方」法務少年支援センターあおもり（青森少年鑑別所）・竹之下氏が講師となった。終わりに，生徒代表からお礼の言葉があり，最後は青森地区保護司会天内会長が締めくくった。

## 課題が残ったりリモート社明運動

コロナ禍，学校の協力もあって工夫して開催された。体育館には，保護司や関係者が参加できず，アウガのAV多機能ホールでのリモート視聴となった。

初めてZoomでのリモートだったが，体育館の音声が反響してとても聞きづらく，また電波状態も一時不安定になり，今後に課題が残った。

コロナ禍，保護司会活動は，ますます工夫が必要となりそうだ。



映し出される佃中学校からの映像

# 「社会を明るくする運動」に参加して

## 【佃中学校 生徒の感想文】

### 1年 山本 紗穂

7月21日、佃中で社会を明るくする運動が行われました。第1部と第2部に分かれて行われ、第1部では人気芸人鉄拳さんの、パラパラ漫画によるショートムービーを見ました。非行や犯罪を犯した少年が、保護司とともに更生の道を選び、社会に復帰すると言うストーリーです。「犯罪や非行防止し、立ち直りを再度地域の力」のテーマに沿った内容で、イラストだけでもよくわかるムービーでした。

第2部では、思いの伝え方についての講話を聞きました。3つの話題を上げ話してくださったのですが、特に「3、アサーションって何？」が心に残りました。アサーションとは、自分の気持ちも相手の気持ちも大切にすること。自分の考えや気持ちに素直になって、その場にふさわしい助言をすること、だそうです。私はこの言葉を聞いたことがなく、周りの人も知らないようでした。言い換えると、爽やかな自己表現という意味です。アサ

ーションとは何か、音声劇で説明してくださいました。例えば、仲良しでカラオケに行った時、1人だけがノリノリで歌ってしまい、みんなが困ってしまった例。その他にも友達にペンケースを貸したものの、なかなか返してもらえず悩んだ例。どちらも実際に身近なところで起こりそうだと感じました。このような場合、うまくコミュニケーションを取るには「ユーメッセージ」と「アイメッセージ」と言う方法があるそうです。「ユー」は「あなたは」から始まる言葉で、命令口調になるのに対し、「アイ」は私はから始まるため、自分の気持ちを伝えやすくなります。今までそんなふう考えたことがなかったので、これからの会話に役立てていきたいです。

今回、このような貴重な体験ができ、家族にもぜひ伝えたいと思いました。今日参加したのは第71回の運動ですが、これからも活動を続け、社会が明るくなってほしいです。

### 2年 高坂 璃音

今回、「社会を明るくする運動」に参加して、思いの伝え方の大切さが分かりました。今まで、目上の人に自分の思いを伝えるときには言語などの言葉遣いに気をつけていました。しかし、今回参加して自分の思いを相手に伝える上で大切にしなければいけないことがたくさんあることがわかりました。

一つ目は、アサーティブな伝え方をすることです。自分の思いを攻撃的に伝えると、相手が傷ついてしまいます。だからといって、自分の思いを遠回しに伝えると相手に理解してもらえない可能性があります。そこで、自分の気持ちも相手の気持ちも大切にすることを大事だと思いました。

アサーティブとは、相手の思いを尊重しながら自分の思いを伝えることです。アサーティブな伝え方をしたら相手も自分も傷つくことがないので、より多くの人に使ってほしいと思います。

二つ目は、アイメッセージを使うことです。ユーメッセージもありますが、文の初めに「あなたは」がつくので、相手を責めるような言い方になってしまいます。それに比べて、アイメッセージは初めに「私は」がつくので、相手も自分も傷ついたり、嫌な思いになったりする事はありません。この二つのメッセージは初めて知ったのでこれから、アイメッセージを使うように気をつけていきたいです。

この二つのことから、思いを伝えるときに相手を傷つけないように伝えること、自分の思いも相手の思いを大切にすることが必要だと感じました。しかし、その時の場により、厳しく伝えなければいけない時があると思います。思いの使い方を使い分けることで、家族や友達とより良い関係を築くことができます。社会が今よりも明るくなっていくと思います。

### 3年 本堂 道香

夏休みが始まる前日、私たちは「社会を明るくする運動」に参加しました。私はこの運動に参加して心に残ったことがいくつかあります。

はじめに見せていただいた犯罪非行の防止、犯罪や非行した人たちの更生について理解を深めることについて描かれたパラパラ漫画では、自分が罪を犯すと、家族や周りの人も傷つけてしまうことを再認識しました。私は絶対人を悲しませることをせず真面目に生きていきたいです。

また、私は人に自分の気持ちをはっきりと言うことが苦手です。しかし、今回の講演を聞き、はっきり言わなくても意思をうまく伝えられる方法があることを学びました。意思をうまく伝えるうえで大事な事は、自分も相手も不満を抱かないようにすることだとわか

りました。そのために私ができそうだったと思った事は、言葉の主語を「自分」にする事です。主語を意識しながら会話するだけで簡単ですし、自分がこう思っているんだよと言う言い方にすることで、柔らかい助言で自分の意思を的確に伝えられると思ったからです。

「社会を明るくする運動」に参加して、これから社会に出ていく上で大切なことを学ぶことができたのは、とても幸運なことだと思いました。小野寺市長に初めてお会いすることができたのも良い経験になりました。この運動で学んだ、絶対に悪い事はしてはならないことと他人へ意思を伝えるための良い方法を日常生活でも忘れず、明るい社会を創れる大人になれるように頑張ります。

# わの分会だより

## 1 分会



【報告・山形民雄】

### 平内町、佃中学校での社明運動

佃中学校及び平内町役場において社明運動広報用のぼり旗を提示した。

例年、平内町の協力を得て各種社明運動を実施していたところ、本年は新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、平内町総務課より県内全域で新型コロナウイルス感染が拡大している状況にあり、例年通り社明運動への協力は惜しまないが、町長への面談を含めてイベント等については自粛していただいているのでご配慮をお願いしたい。との要望があり、今年度は

- 平内町役場前への社明運動に関わるのぼり旗掲示による広報活動
- 平内町全戸に対し回覧板を活用して社明運動に関わるリーフレット配布による広報活動。
- 平内町防災無線を活用して社明運動メッセージの放送による広報活動を実施した。

## 2 分会



【報告・鬼柳久美子】

### 今年もできなかった「ミニ集会」

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で「ミニ集会」は開催できませんでしたが、筒井中学校のご好意でのぼり旗は設置することができました。

今年度、筒井中学校では、「私」を主語に取るべき行動を5項目でまとめた、独自の人権宣言を広める活動をしています。来年は是非、人権宣言をテーマとしたミニ集会を開催できることを楽しみにしています。

筒井中学校の人権宣言に賛同している、近隣の筒井小学校と筒井南小学校にものぼり旗を設置させていただきました。

## 3 分会



【報告・白鳥きよみ】

### 分会の境界線を考える

例年通り、甲田中の校舎道路側に鮮やかな黄色ののぼり旗を設置しました。また昨年同様、全校生徒に社明運動グッズ（ティッシュ、クリアファイルなど）を配布したコロナ禍自粛の社明運動でした。

〈私見〉友人に「一緒に活動しよう」と笑顔いっぱい保護司に推薦し、その方は無事委嘱されたが、異なる分会の所属となったのでとても残念に思った。

青森地区は1～5分会となっているが、紹介した友人と一緒に分会で活動できるよう分会の境界線の在り方について見直すことは無難いでしょうか。時代と共に大きく変化していく中、検討をお願いします。

# 4 分会



【報告・柿崎慎一】

## かかしロードに社明のぼり設置

今年も昨年が続いて、新型コロナウイルスの影響で、恒例のイベントと西部市民センターでの新城祭、油川市民センターでのかかしロードイベントが中止となる中、蓬田村役場、外ヶ浜町役場、平館支所、蟹田駅、今別町役場、竜飛ホテル、蓬田保育園、富田保育園に、のぼり旗、ポスターの掲示及びうちわ、ティッシュの配布を行い、かかしロードでは、のぼり旗の設置を通して、社会を明るくする運動を行いました。

また、菅内閣総理大臣及び青森県知事からのメッセージについては、感染拡大のリスクを考慮して、3町村とも口頭での伝達式を止め、文書での手渡しとなりました。

# 5 分会



【報告・對馬 充】

## 人的交流の必要がない社明運動

5分会では、①JR浪岡駅、浪岡中学校周辺への社明旗設置、②夜店祭りでの社明グッズ(ティッシュ、ミニうちわ)配布、③浪岡高校生との座禅交流会、④浪岡地区安全・安心パレードでのPR活動を4つの柱に啓発活動を展開しておりましたが、昨年、今年とコロナ禍により活動の縮小を余儀なくされました。人的交流の必要がない ①社明旗の設置については通常通り実施しましたが、②、③、④については、浪岡高校を訪問して生徒への社明グッズの配布とその活用を依頼するとともに、JR浪岡駅の地域交流センター「あびねす」にポスターとパンフを掲示し、代替措置といたしました。

## コロナ禍でも様々に工夫された社明運動



### アウガ前の広報活動

【地域活動部会】

7月11日(日)、コロナ禍のため少人数の部員で、社明グッズ・チラシを配布した。当日は、人通りが少ないような気がした。

### 社明キャラバン隊

【事務局・企画調整保護司】



平内町役場前

第1弾 7月17日(土)、あすなる→浪岡庁舎前→道の駅アップルヒル→平内役場前→あすなる。猛暑の中、車4台で実施。



ホテル竜飛前

第2弾 11月6日(土)、あすなる→蓬田村役場前→平館支所前→今別町役場前→三厩支所前→ホテル竜飛→外ヶ浜町役場前→あすなる。

令和3年9月2日付

# 新任保護司紹介

「保護司の委嘱をうけて」



澤 奈保子

第2分会  
青森市筒井八ッ橋

以前、地元新聞で青森県の更生保護活動の記事を読み、保護司というボランティアに関心を持ったのが最初のきっかけでした。当時は南部地方に住んでおり、上十三地区保護司会会長さんはじめ先輩保護司の方々とお会いして、沢山の経験のお話を伺う中で、初めは私も何かお役に立てれば…と漠然とした思いが、活動の力になっていきたいという思いに変わっていき、家族の理解も得て決意した次第です。

3月に上十三地区新任保護司として委嘱状を頂いてから転機があり、津軽の実家に住む親への孝行の思いで、この度故郷へ戻り、9月に青森地区へ移籍致しました。周囲の方々の支えで、新人保護司としてのお役目にご縁を頂けたことに心から感謝し、努めてまいります。

まだ経験も無く不安が大きいです。研修会を通して自己研鑽に励み、先輩方々からご指導やご助言を頂きながら、対象者の方に真摯な姿勢で丁寧に向き合っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



福士 幸子

第3分会  
青森市大野山下

6~7年前、PTAの広報紙に「保護司から伊藤のおっちゃんから」というコーナーをつくりました。長年子ども会に尽力し、子供を見続けてこられた保護司(当時)の伊藤尚三さんから子育てのヒントをいただくという趣旨のもので、その中で伊藤さんから「保護司」の活動を聞きました。様々な家庭環境があり、他人の人生に多少なりとも関わっていくことの重さにとても驚き「伊藤さん、なんでこんなことやってるの?」と感じずにはいられませんでした。それから月日が経ち、長年携わってきたPTA活動も終わりを迎えようとしていた時、近所に住む保護司の白鳥きよみさんから声をかけていただきました。今現在では、全く自信もありませんし抱負たるものもありません。ただ白鳥さんを見ていると、いろんなことに一生懸命で、また「保護司」の人材不足を投げかけられ、この度足を踏み入れようと思えました。これからよろしくお願ひいたします。



羽賀マイナル

第5分会  
青森市浪岡女鹿沢

私は、ボランティア活動にすごく興味があり、ある活動で知り合った保護司の阿部哲さんのお誘いを受けました。十数年前、教師を辞めて、弘前大学へ留学のため来日しました。その後、主人と出会い結婚して青森に住むようになりました。日本の生活に溶け込むためにも、日本語を上達させるためにも、社会に出て学習しかないとしました。そして、何種類かの職業を経験し、日本の文化、習慣、社会制度などを少しずつ理解し、その後帰化しました。

日本国民の一員として生活しても、なかなか日本人として認められない、カナ名の免許証を見て、平然と外国人登録カードの提示を要求されたことがしばしばです。そのことを考えると、人が固定観念から無意識的に他人を差別してしまいます。特に犯罪や非行等の過ちをした人たちに対する偏見もかなりあるでしょう。そこから保護司の役割がいかに大切かがよく理解できます。私が保護司として不安が大きくて、特に対象者とコミュニケーションがうまくできるかどうか心配ですが、自分の経験を生かしたり、社会貢献をしたいという信念で、皆さんのご助言を受けながら頑張りたいと思っております。よろしくお願ひします。

## 保護司推薦希望町会

保護司ご推薦にあたって、補充したい地域です。

【第1分会】 浜館～自由が丘 浅虫周辺 平内町沼館	【第2分会】 桂木～浜田周辺	【第3分会】 金沢周辺	【第4分会】 岡町、浪館前田、西滝、 久須志、石江、新田、 新城、三内、外ヶ浜、 三厩本町	【第5分会】 浪岡
------------------------------------	-------------------	----------------	---	--------------

令和3年度  
保護司顕彰

# 法務大臣表彰に田中明子氏、今井百合子氏 全国保護司連盟理事長表彰に松山義幸氏

表彰式は例年、青森県更生保護大会の中で開催している。昨年と本年はコロナ禍のため大会が中止となったが、本年は11月19日(金)ホテル青森(青森市)にて表彰伝達式を行った。被表彰者(法務大臣表彰・全国保護司連盟理事長表彰)は、県内で合わせて25人。  
青森地区の伝達式は、記念講演と共に12月11日開催。受賞者は下記参照。



法務大臣表彰(青森地区保護司は右下段から田中明子氏、今井百合子氏)



## 令和3年度 受彰おめでとうございます



青森地区保護司会被表彰者 (敬称略)

【藍綬褒章】 保護司 鎌田 喜代志

【法務大臣表彰】 保護司 田中明子 今井百合子

【全国保護司連盟理事長表彰】 保護司 松山義幸  
家族功勞 関 幸子 (関 一字 妻)

### 【東北地方更生保護委員会委員長表彰】

保護司	木村良一	佐藤光子	後藤雅之	白鳥きよみ
	三上誠一	山内みどり	田中豊代	工藤照造
	對馬充			

### 【東北地方保護司連盟会長表彰】

保護司	兜森忍道	古川 崇	常田 あきえ
家族功勞	石田 あき子 (石田 次郎 妻)		

### 【青森保護観察所長表彰】

保護司	齋藤史彦	酢谷奈保子	田川伊吹	山本治男
	佐々木敦子	津嶋 博		

### 【青森県保護司会連合会会長表彰】

保護司	織田隆全	高橋修一	中村 徹	山上雄治
	對馬 博	鳴海敏恵	高尾和子	有馬敦子
	大山由紀子	工藤美智子	七戸俊逸	
	杣谷徹也	佐々木雅久		



# 青森市長へ再犯防止推進計画に係る要望書を手交

## ～保護司適任者に関する情報提供及び職員等の推薦等について～

青森県では再犯の防止等の推進に関する法律第8条の規定に基づき、令和3年6月18日付けで、「青森県再犯防止推進計画」を策定した。この中で、県内市町村に対して、再犯防止推進計画の策定や再犯防止に関する施策の推進を求めていくことを掲げており、10月19日(火)更生保護関係7団体と青森保護観察所により、青森市長へ再犯防止推進計画に係る要望書の手交式があった。

⑤地方再犯防止推進計画策定への配慮について以上5点

- ①保護司適任者に関する情報提供及び職員等の推薦等について
- ②自宅以外の面接場所の確保について
- ③更生保護ボランティアに対する顕彰等について
- ④保護司確保に協力した事業主に対する優遇措置について



## 出前! 更生ホゴちゃん!

【無人パネル展】【青森地区保護司会・青森県保護司会連合会】



10月6日(水),7日(木),8日(金),アウガ1F駅前スクエアにて3日間開催。社明のティッシュ,チラシ,綿棒セットを置いて自由配布した。社明のパネル展示は、初めての取り組み。

## あすなる入所者と一緒に陶芸教室とボウリング大会

陶芸教室は、入所者5名と職員他少人数の参加で6月27日(日)と7月25日(日)実施。新城の窯場では、釉薬の作業後、昼食は手作りの豚汁。世界で一つの手作り器の完成が待ち遠しい。



ボウリング大会は、入所者10名と職員・保護司会事務局・更生保護女性会の参加で10月31日(日)開催しました。久しぶりで、足腰の調子がとても心配のような方もいたようだ。



### ちょっと良い話!

新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない。

新聞を見ても暗いニュースが以前より多いと思うのは気のせいでしょうか?

飲み会もダメ、イベントの中止、スポーツ観戦の無観客制限など楽しみが減っている影響もあるのでしょうか。

保護司会の行事もほとんど中止になったため交流も無く、新任保護司としては諸先輩の方々と知り合う機会が無いのが残念です。

最後に私自身の気持ちがほっこりとした話の一つします。

7月に浪岡中学校前に社明のぼり旗を設置しましたが、強風で捲れあがっていたため直ししていたら「何か手伝うことはありませんか」と一人の男子生徒から声をかけられました。中学校周辺のゴミを先生と生徒10人くらいで掃除をしているのは分かっていたのですが、その中の一人の生徒が自分で声をかけて手伝うとは驚きでした。でもすごく嬉しかったです。ちょっと良い話でした!

広報部 下山 泰尚

### 【退任保護司】

永年のご尽力賜りありがとうございました。

小野寺 幸治 (4分会)

### 【特例再任保護司】

退任の年齢ですが保護司活動を継続されます。

森 禎子 (4分会)